

2018年10月18日

スカパーJSAT 株式会社

船舶 IoT に向けた取り組み 「IoS-OP テストベッド」に衛星回線サービス『OceanBB plus』を提供！

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治、以下スカパーJSAT）は、株式会社シップデータセンター（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：池田 靖弘、以下 ShipDC）の主導する IoS オープンプラットフォーム（Internet of Ships Open Platform、以下 IoS-OP）^{※1} 参加企業へのサービスとして本日運用が開始された「IoS-OP テストベッド」^{※2} に向けて、衛星回線サービス『OceanBB plus』及び関連機器の提供協力を致します。

スカパーJSAT は、海上でのインターネット利用の拡大や船舶の IoT 化時代の到来を見据え、2018年4月より次世代海洋ブロードバンドサービス『OceanBB plus』の提供を開始致しました。本日より ShipDC が IoS-OP の参加企業向けに開始した「IoS-OP テストベッド」では、実船に搭載する前に各機器やソリューションとの接続確認試験ができる環境が提供されます。スカパーJSAT は、「IoS-OP テストベッド」に、衛星回線サービス『OceanBB plus』、そして米国 KVH Industries 社の協力のもと^{※3}、同社製「TracPhone® V7-HTS」アンテナ及び機器の提供協力を行います。実証テストを通じて『OceanBB plus』による高速回線をご利用いただけます。

スカパーJSAT は、『OceanBB plus』サービスを通じて今後も ShipDC 並びに参加企業と共に海事産業におけるデータ活用を促進し、日本の海事産業のより一層の発展に貢献してまいります。

^{※1} IoS オープンプラットフォーム（IoS-OP）：ShipDC が主導する、海事業界におけるデータ流通を実現し、デジタル時代における新たな海事クラスターの IoT 基盤を提供するプラットフォーム。船社、造船所、船用工業、情報通信をはじめとした 46 組織が参加し発足。

^{※2} IoS-OP テストベッド：船内センサー・船上データ収集装置・衛星通信・ShipDC・アプリケーションまでのテストが実施できる環境を提供することで、船内で実機やシステムを搭載する前に各種の技術的な検証を可能とする。一般財団法人日本海事協会 情報センター内に設置（千葉県千葉市緑区）。

プレスリリース「IoS オープンプラットフォーム テストベッド」の開設について

https://www.classnk.or.jp/hp/ja/press_release.aspx

^{※3} 2018年3月1日プレスリリース「次世代船舶向け高速通信サービスの協業体制強化のため米国 KVH 社へ出資」

https://www.sptvjsat.com/load_pdf.php?pTb=t_news_&pRi=1116&pJe=1

【株式会社シップデータセンター】

会社概要：一般財団法人日本海事協会の100%出資の子会社として2015年12月に設立。海事産業全体におけるデータの活用機会を最大化することを目指し、船舶IoTデータ等を保管するデータセンターの提供及び運營業務、船舶IoTデータ等の活用サービスの(Web-API)提供及び関連システムの運用、提供サービスに関する技術サポートを行っている。

<https://www.shipdatacenter.com/>

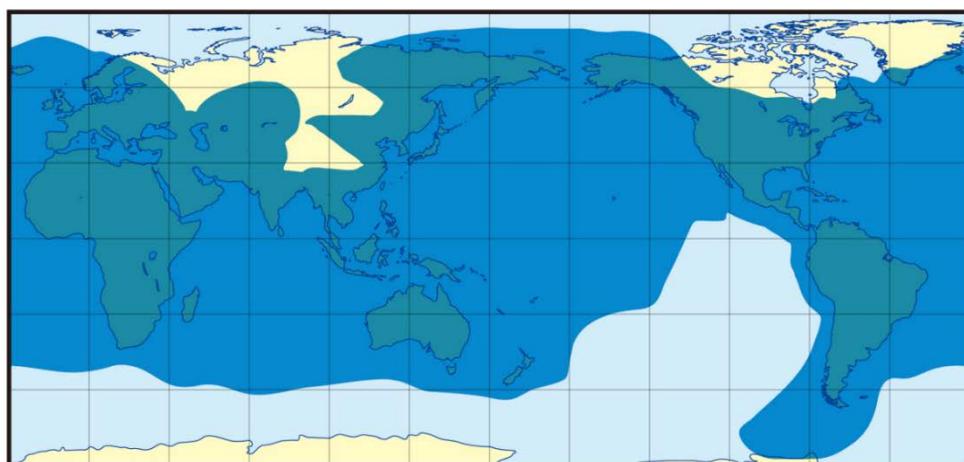
【OceanBB plus】

船舶向け高速インターネット接続サービス。スカパーJSATの通信衛星がカバーするインド洋、アジア、オセアニア海域に加え、米国KVH Industries, Inc.との提



携により、太平洋、大西洋、地中海、カリブ海等の海域でのローミング接続を提供することで、グローバルなサービスエリアを実現。エリアごとの気象情報や水路情報、寄港地情報など、安全な運航を支援する情報のインターネットからの取得、陸上拠点からの配信も容易。

https://www.jsat.net/jp/satellite/oceanbb_plus/ocbb_plus_whats.html



■ ご利用可能エリア

※2018年3月現在

以上